

こちら
中央区 Chuo
です **8** 月号
平成29年

中央区役所
〒860-8618 中央区手取本町1番1号 ☎096-328-2555(代表)

・総務企画課	☎096-328-2610	・保護課	☎096-328-2320
・区民課	☎096-328-2240	・保健子ども課	☎096-328-2419
・福祉課	☎096-328-2311	・中央税務課	☎096-328-2181

中央区まちづくりセンター ☎096-328-2232

中央区の人口 (平成29年6月1日現在推計人口) **人口** 187,697人(+301) **世帯** 97,723世帯(+225) **面積** 25.45km² (国土地理院公表値)

8020推進員育成講座募集 無料



▲「歯の祭典」で活動する中央区8020推進員

歯と口の健康づくりをすすめるために、地域で活動するボランティアになりませんか。

期間 8月25日(金)～ (全4回)

場所 健康センター大江分室(ウエルパルクまもと3階)ほか

内容 口腔や全身の健康など健康づくりに関する講話や実習など

対象 中央区に住む18歳以上の方で講座に毎回参加でき、修了後「8020推進員」として地域で健康づくり活動ができる方

定員 20人(先着順)

申込み 8月4日から電話で中央区役所保健子ども課へ

認知症介護家族のつどい

介護の悩みを打ち明けて気持ちを分かち合い本音話せる場です。

■こもれびひろば

期日 8月2日(水)、18日(金)
※毎月第1水曜日・第3金曜日

時間 午後1時半～3時半

場所 水前寺高齢者複合施設(中央区国府1丁目3-15)

費用 100円

申込み 電話でささえりあ水前寺(☎096-362-0065)へ

■もやいのひろば

期日 8月26日(土) ※毎月第4土曜日

時間 午後1時半～3時半

場所 風流街もやい館グループホーム五福(中央区細工町4丁目34-1)

費用 100円

申込み 電話でささえりあ熊本中央(☎096-319-0222)へ
(中央区役所福祉課)

多世代型オレンジカフェ

「誰もが安心して暮らせる地域づくり」を目指して開催します。それぞれの世代が役割を持ち、活動できる場です。さまざまな人々が交流することで、認知症に対する理解が深まります。

日時 8月26日(土) 午後1時～3時
※毎月第4土曜日

場所 水前寺公園参道「健康ふれあい広場」

内容 鈴カステラづくり、廃材を使ったおもちゃづくり、囲碁、パソコンなど

対象 認知症高齢者および家族、高齢者、子ども、親世代、学生、地域関係者など

費用 100円

申込み 当日直接会場へ
詳しくは、ささえりあ水前寺(☎096-362-0065)へ。
(中央区役所福祉課)

防災

防災に関する出前講座

地域や学校の防災に関する勉強会でお話します。

場所 申込者が指定した場所(会場の手配や準備は申込者側でお願いします)

テーマ例 ・本市の防災体制
・知っておきたい防災知識

申込み 1か月前までに電話または直接中央区役所総務企画課へ

地域版ハザードマップをつくりませんか



地域版ハザードマップは、災害が起きたときの危険箇所や避難場所などを明記した地図です。

企画会議、まち歩き、仕上げ作業を行い、市民の皆さんと一緒に作成します。
※複数の町内を合わせて作成することもできます。

(中央区役所総務企画課)

中央区まちづくりセンターです

連載第2回目となります今回は、白山校区と出水南校区の担当をしております迫本が務めさせていただきます。



本年4月に、地域担当職員として着任し、3か月を経過したところですが、日々、地域の方々の声を伺っていると、皆さまの多様化するライフスタイルを背景に、行政の求められる役割も、より細やかで、丁寧な対応が必要となっていることを実感しているところです。

そのような状況においては、本来、熊本市の職員は、市全体の利益を考え、判断、行動するという責務がある中、それぞれの担当校区の振興と発展をまずは第一と捉え、取り組める、地域担当職員の強みを活かし、担当する校区の住民お1人おひとりが快適で住みやすいと感じていただけるよう努めてまいりたいと考えています。

そのような地域担当職員、各々の個別の取り組みを横展開していくことで、市域全体が元気になっていけばいいなと思っています。

(中央区まちづくりセンター)

専門医による心の健康相談 無料

「何日も眠れなくてつらい」「食欲がなく、気持ちが落ち込み何もする気がおこらない」「受診させたくても本人に病気の認識がない」など、心の病気で悩むの方、気軽にご相談ください。

日時 8月28日(月) 午後2時～4時

場所 中央区役所3階保健子ども課相談室

内容 専門医による個別相談

対象 心の病気の方や家族など

定員 2組(先着順) ※予約制

申込み 8月25日までに電話で中央区役所保健子ども課へ

新しい自治会長さんです (敬称略)

(5月31日までの届出)

吉田 健(出水2)	草野 澄子(砂取9)
堺 義隆(出水南4)	吉村 康之(春竹10)
村本 雄二(黒髪18)	山口 満晴(春竹12)
阿向 孝志(砂取3)	

(中央区役所総務企画課)

魅力国発見 城下町くまもと散策 託麻原界隈 3 「渡鹿堰」



大井手(渡鹿堰付近)

清正は白川水系最大規模の灌漑用水施設である「渡鹿堰」を築造したと伝えられており、『熊本市史』には次のように書かれています。

「熊本平野のうち、特に城下の南面に近い、「託摩平野」の沃田を養うために、清正公が白川の水を通ずる三条の用水を掘さくせられた。(中略)その白川からの分水点は、大江町渡鹿の北端にあつて、これを通常「渡鹿堰」と呼んでいる。」

「渡鹿堰」を起点に大井手ができ、さらに、託麻原南部に一の井手、二の井手、三の井手と三すじの用水路が築かれました。今はふたをしてある所も多く、昔の面影はありませんが、昭和の初めごろまでは、現鎮西高等学校付近の九品寺には水田があったとのこと。当時は九品寺、長溝、田迎出仲間、日吉、十禅寺、川尻に到る三千町歩(約30平方キロメートル)を潤し、肥後米の託摩郡の主産

地となったそうです。昔はこの良質の米がとれた水田を俗に「託摩ちゃあばる」(託麻田原)と呼んでいました。

現在の渡鹿堰は昭和30年6月にできた簡易ダムで建設省(現:国土交通省)熊本出張所によって完成したものです。清正時代の堰はほとんど残っていませんが、今でも一部を見ることが出来ます。

【参考文献】
・加藤清正の川づくり・まちづくり
・託麻原30年



渡鹿堰記念碑

(中央区役所総務企画課)